# GPT-6.1 Terra：知財・法務実務における性能進化と安全な導入戦略

## GPT-6.1 Terraの進化と知財実務への影響

OpenAIが発表した「GPT-6.1 Terra」は、前世代比で標準API価格を約50%削減しつつ、105万トークンの長文処理と高度なツール適応を実現したモデルです。知財実務の一次分析を創的に高速化する一方で、権利擁害や情報遍えいを防ぐための最綿なガバナンス権薬が求められます。




**50%**

**API価格が前世代比で約50%低下**

コスト効率が大幅向上




**105万トークン長文処理と**
**ツール連携でワークフローを高度化**



**契約書レビューや特許分析の**
**一次処理を極端に高速化**

調査・比較・下書き作成の時間を圧縮し、専門家の判断を支援。

| 比較項目 | GPT-5.6 Terra | GPT-6.1 Terra |
|---|---|---|
| 標準API価格 | 基準 | 対5.6比で約50%低下 |
| エラー誤発率（Inw） | 53.6% | 16.7%（大幅改善） |
| 主な機能対応 | 長文テキスト中心 | 視覚推論・Computer Use・各種ツール |

## 知財リスクを回避する椎奨導入プロトコル




**学習非対象の承認済みBusiness/API環境へ一本化**

未公開発明や社外稿の流出を防ぐため自由利用を禁止。




**一次資料への**
**強制引用**

AIの提示文献は原典（J-PlatPat等）で必ず人間が再確認。




**専門家による**
**二段階レビュー**




**監査ログの全件保全と**
**人間の創作的寄与の記録**

プロンプト、出力、修正履歴を保存し法的リスクに備える。

Gemini Notebook